

⑫ 新時代を創造する人材育成プロジェクト

学校や地域での学びを通じて、子どもたちが郷土に対する誇りを醸成し、知・徳・体にわたる生きる力を身に付け、夢や志を育むことにより、地域や社会の課題を解決する力を体得できる教育を推進します。

1 これまでの主な取組と成果

【地域教育力日本一の取組】

- 全国で初めてコミュニティ・スクールをすべての公立小・中学校及び県立特別支援学校に導入するとともに、地域協育ネット協議会をすべての公立中学校区に設置
- コミュニティ・スクールを核として、社会総がかりで子どもの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」の取組に必要な基盤を構築

【確かな学力・たくましいやまぐちっ子の育成、きめ細かな指導体制づくり】

- 小・中学校における「全国学力・学習状況調査」では、国語、算数・数学の全区分において2013(平成25)～2016(平成28)年で全国平均を上回る結果
- 県立特別支援学校において、個別の教育支援計画等に基づくきめ細かな指導・支援を実施するとともに、山口県特別支援学校技能検定「きらめき検定」を開発・導入
- 市町教育委員会と連携した特別支援学級の適切な設置等により、多様な学びの場を整備
- いじめ等問題行動や不登校の未然防止、早期発見・早期対応を図るため、各学校へのスクールカウンセラー配置、県及び全市町へのスクールソーシャルワーカー配置等、専門的な相談・支援体制を整備
- 体力向上プログラムによる授業改善や、運動習慣の定着に向けた取組を推進
- 読書習慣や望ましい生活習慣の定着に向け、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進
- 教員が本来担うべき業務に専念できるよう、教育現場における業務改善や重点的な支援をとりまとめた「山口県 学校における働き方改革加速化プラン」を策定(平成30年3月)

【明治期の先人に学ぶ取組】

- 明治150年を契機として、明治維新を成し遂げた郷土の先人たちの志と行動力に学び、将来の県づくりを担う若い世代の意識啓発と人材育成を推進するため、「大学生国際会議」や「若者『志』ミーティング」を開催

【地域に貢献する人材の育成】

- 県と県内全ての大学・短期大学が設立した「大学リーグやまぐち」や「COCプラス※」において、地域産業を担う人材の育成や学生の県内就職支援を実施

【山口県立大学の整備充実】

- 山口県立大学において、地域課題の解決を目的とした専門プログラムの構築や、学部・学科横断的な調査・研究の実施、県内就職を促進するためのインターンシップ等により、地域貢献に資する人材の育成や調査研究を推進

- 山口県立大学の施設整備を推進し、2号館（学部共通棟）及び4号館（栄養学科棟）の供用を開始

2 現状と課題

【地域教育力日本一の取組の充実】

- 地域連携教育を円滑に推進していくため、核となる統括コーディネーター等の人材育成・人材発掘が必要
- 県立高等学校等へのコミュニティ・スクール導入促進に向け、地域や企業、大学など関係機関との連携の強化が必要
- 共生社会の実現に向けて、県立特別支援学校のコミュニティ・スクールの推進が必要
- きめ細かな家庭教育支援のため、地域の実情に応じた家庭教育支援チームの強化が必要

【きめ細かな教育の推進】

- 児童生徒の学力の向上に向け、小・中学校では「やまぐち型地域連携教育」を基盤とした取組、高等学校では主体的・対話的で深い学び※の実現に向けた授業改善等の推進が必要
- 高い志をもった児童生徒を育成するため、系統的・計画的なキャリア教育の推進が必要
- 県立特別支援学校における医療的ケアや職業教育の充実及び一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の一層の充実のため、幼・小・中・高等学校等の確実な引継が必要
- 学校現場における複雑化・多様化する課題への対応や教育のさらなる充実・改善に向けて、教員の子どもと向き合う時間や自己研鑽の時間の確保が必要
- 生徒の多様な学びの希望に応えるため、地域や企業、大学等との連携による教育活動の充実など、特色ある学校づくりの一層の推進が必要

【豊かな心・健やかな体の育成】

- 暴力行為の発生件数は、小学校では増加傾向
不登校の出現率は全国と比べると低いが、小・中学校では増加しており、未然防止に向けた心の教育の一層の充実が必要
- いじめの問題の対応において、早期発見・早期対応により重篤化を防ぐ必要があり、外部専門家と連携した相談・支援体制の強化が必要
- 現代的な健康課題や食習慣の乱れ等に対応するため、健康教育・食育の一層の推進が必要
- 総合的な体力指標である体力テスト合計点は小・中学校ともに全国平均を下回っており、バランスのとれた体力向上や運動習慣定着に向けた取組の一層の推進が必要

【地域に貢献する人材の育成】

- 産学公が連携し、地域産業の成長を牽引する高度な専門性を有する人材の育成・輩出に向けた取組の推進が必要
- 若者の郷土への誇りと愛着を醸成し、山口県で活躍する人材の育成を推進することが必要

3 今後の展開

コミュニティ・スクールを核とした地域連携教育を深化させ「地域教育力日本一」の取組を一層充実させるとともに、授業改善やインクルーシブ教育システム※の充実、学校における働き方改革等を通じたきめ細かな教育の推進や、いじめ・不登校への対応の強化に取り組みます。

また、明治150年を契機として、先達の偉業に学びながら、山口県を舞台に活躍する若者の育成に取り組みます。

【重点施策】

■40 「地域教育力日本一」の取組の充実

○ やまぐち型地域連携教育の推進

- ▽ 活動を推進する核となる人材の育成
- ▽ 統括コーディネーター等の「地域学校協働活動推進員」※への委嘱の促進
- ▽ やまぐち型地域連携教育の仕組みを生かした家庭教育支援の取組の推進

○ コミュニティ・スクールを核とした地域連携教育の拡大・充実

- ▽ 県立高等学校へのコミュニティ・スクールの全校導入、学校・地域の課題解決に向けた企業や大学等との連携強化
- ▽ 県立特別支援学校と小・中・高等学校等のコミュニティ・スクールの連携を通じた障害や障害のある子どもへの理解の促進

■41 きめ細かな教育の推進

○ 未来を切り拓く確かな学力の育成

- ▽ 各学校の「組織力」の充実、教員の「授業力」の向上、学校・家庭・地域の「連携力」の強化による、児童生徒に確かな学力を育成する取組の推進
- ▽ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
- ▽ JAXAと連携した宇宙に関する教育の推進

○ 夢を志に高めるキャリア教育の充実

- ▽ 学校と家庭、地域、産業界等の連携による体験活動等の充実

○ インクルーシブ教育システムの充実

- ▽ 県立特別支援学校における障害の重度・重複化、多様化への対応や、自立と社会参加に向けた指導・支援の充実
- ▽ スポーツや交流活動を通じた「心のバリアフリー」の実現に向けた取組の推進
- ▽ 幼・小・中学校等における、支援を必要とする幼児児童生徒の個別の教育支援計画・指導計画の作成及び活用による、切れ目ない指導・支援の充実
- ▽ 高等学校における、特別な教育的支援を必要とする生徒への「通級による指導」をはじめとした特別支援教育の充実

○ 学校における働き方改革の推進

- ▽ 事業・校務等の総点検による業務量の適正化や、統合型校務支援システム導入等による業務の効率化
- ▽ 勤務時間の適切な把握と柔軟な勤務体制の整備、業務・活動時間のルール化等、勤務体制の改善
- ▽ 校務や地域連携活動、部活動等を支援する外部人材のさらなる活用

○ 多様な学びの希望に応える学校づくりの推進

- ▽ 「第2期県立高校将来構想」に基づく特色ある学校づくりの推進
- ▽ 生徒の多様な学びのニーズに応える多部制定時制高校※の設置

○ 私立学校における特色ある教育の推進

- ▽ 私立学校の教育条件の維持・向上や環境整備等に対する支援の実施

■42 豊かな心・健やかな体の育成

○ いじめ・不登校等の問題への取組の強化

- ▽ 未然防止のため、児童生徒に対する心の教育の充実
- ▽ 早期解決に向けた外部専門家や関係機関等と連携した相談・支援体制の強化

○ 子どもたちの元気を創造する取組の推進

- ▽ 学校・家庭・地域の連携による読書活動や体験活動、健康教育や食育等の推進
- ▽ オリパラ教育※の推進や部活動指導員の配置など、関係団体と連携した学校体育の充実

■43 明治150年から未来へつなぐ人材の育成

○ 人材育成プラットフォームの構築

- ▽ ふるさとやまぐちを愛する子どもたちの育成
 - 児童生徒の成長に応じて学校と地域が連携・協働する取組を共有するためのカリキュラムの策定及び運用の推進
- ▽ 未来のやまぐちで活躍する若者たちの育成
 - 大学や企業等と連携し、郷土への誇りや愛着を持ちながら自らの考えを行動に繋げ、地域の課題を解決できる人材の育成の推進

○ やまぐち型教員育成システムの構築

- ▽ 「山口県教員養成等検討協議会」等を通じ、県内大学等と連携・協働した教員志願者の養成に向けた取組の強化
- ▽ 長期的な視点での山口県教育のあり方の調査研究、これに基づくリーダー教員の育成の推進

○ 県内大学等における機能分担と連携の推進

- ▽ 県内大学等において、それぞれの特色や強みを活かした教育・研究機能等の分担と連携・協働を推進していくための新たな体制づくりの検討

○ 山口県立大学の機能強化

- ▽ 地域や時代のニーズに即し、県立大学として担うべき人材育成機能の強化に向けた、学部・学科の見直しを含む教育カリキュラムの充実
- ▽ 「3つの維新」への挑戦に資する、産学公連携による研究拠点機能の強化
- ▽ 山口県立大学の第二期施設整備を推進

4 成果指標

指 標 名	現状値(2017)	目標値(2022)
県立高校等におけるコミュニティ・スクール導入校の割合	31.5%	100%
勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合（公立小・中学校）	小64.1% 中62.4%	増加させる
総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職率	95.7%（2016）	100%に近づける
いじめの解消率（公立小・中・高校、特別支援学校）	98.1%（2016）	100%に近づける
1,000人当たりの不登校児童生徒数（公立小・中・高等学校）	小中 11.4人 高 4.1人 (2016)	減少させる
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の平均点	小5男子 52.9点 小5女子 54.3点 中2男子 41.5点 中2女子 49.4点	増加させる
高校生等の県内就職割合	80.2%（2016）	85%以上
大学生等の県内就職割合（山口しごとセンター登録者）	51.1%	56%
山口県立大学新規卒業者の県内就職割合	41.6%（2016）	50%

5 関連する県の計画

○山口県教育振興基本計画

○山口県 学校における働き方改革加速化プラン

6 県民等に期待する役割

県 民	<ul style="list-style-type: none"> ○山口県の歴史や文化、産業等について、積極的に学び、本県の魅力への理解を深める。 ○地域の教育力の向上・地域の活性化に向け、学校・家庭・地域が一体となった、社会総がかりによる子どもたちの育ちや学びの支援活動への参画に努める。 ○国の動向を踏まえ、学校・教員が担う業務のうち、地域・保護者との連携が必要であると判断された業務について、連携・協力して取り組む。
-----	--

市 町	<p>○学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもたちの育ちを支援する取組や地域とともにある学校づくりを推進する。</p> <p>○「知・徳・体」の調和のとれた教育の充実を図るため、子どもたちの確かな学力や豊かな心、健やかな体の育成に努めるとともに、きめ細かな指導体制づくりを推進する。</p> <p>○県教育委員会や他の市町教育委員会の取組を参考に、各小・中学校における働き方改革を推進する。</p>
企業・団体等	<p>○山口県の将来を担う若者の定着を推進するために、企業の魅力の発信やキャリア教育等への参画などの活動を積極的に実施する。</p> <p>○「やまぐち教育応援団」として、職場見学や就業体験、ゲストティーチャーとしての授業参加など、学校の教育活動に協力する。</p> <p>○国の動向を踏まえ、学校・教員が担う業務のうち、関係機関・団体との連携が必要であると判断された業務について、連携・協力して取り組む。</p>

【用語解説】

※COCプラス：プロジェクト③に掲載

※インクルーシブ教育システム：人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的のもと、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みのこと。

※主体的・対話的で深い学び：児童生徒が、質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするため、学校の授業改善を重ねていくこと。

※地域学校協働活動推進員：地域学校協働活動の推進において、地域住民等と学校との連絡調整等を行い、社会教育法第9条の7に基づき、当該教育委員会から委嘱された者のこと。

※多部制定時制高校：定時制課程において、午前部、午後部、夜間部など、学習時間帯を選択して学ぶことができる仕組みを持つ高校のこと。

※オリパラ教育：オリンピック及びパラリンピックの理念について学ぶとともに、オリンピック・パラリンピックの価値を体験的に教えていこうとする教育活動のこと。

⑬ 人を豊かにする環境づくり推進プロジェクト

県民誰もが、何歳になっても知識や技能を高めて自らを成長させ、その識見や技術を次世代の人材の育成に活かしていけるよう、生涯学習やスポーツ・文化活動に取り組む環境を整備します。

1 これまでの主な取組と成果

【生涯学習・社会教育の推進】

- 生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」等による情報提供、図書館や大学等による公開講座や体験学習等、学習機会の提供や社会教育支援を実施

【文化財の保護と活用】

- 国や地元と連携し、国及び県指定文化財の補修・整備を実施
県内の国指定天然記念物の指定数は全国1位（44件）
- 世界文化遺産の登録、日本遺産の認定に向け、関係市の取組を支援
「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録（2015(平成27)年7月)、「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」の日本遺産認定（2017(平成29)年4月）を実現
- 錦帯橋の世界文化遺産登録を目指し、県、岩国市、関係団体による「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」を設立（2016(平成28)年11月）

【文化・スポーツの振興】

- 幅広い層に親しまれるテーマでの展示の企画や、大規模な周年事業等の文化事業の充実により、県立文化施設6館の入館者数は増加傾向にあり、2017（平成29）年度には直近10年間で最高の入館者総数を記録
- 山口県総合芸術文化祭の開催等を通じ、県民の鑑賞、参加及び創造の機会を充実
- 「我がまちスポーツ」の定着・育成により、市町のスポーツによるまちづくりやスポーツ人口の拡大に向けた取組を支援
- やまぐち総合スポーツ大会の開催等により、県民のスポーツ活動への参加を促進
- 選手・指導者の育成強化により、競技団体の活動や競技力の向上を担う人材の育成を支援

2 現状と課題

【リカレント教育※の推進】

- 「人生100年時代」や技術革新の進展を踏まえてリカレント教育を推進するための環境整備が必要

【文化・スポーツの振興】

- 日々の生活に潤いを与え、人々に生きる喜びをもたらしてくれる文化芸術を振興し、次代に継承していくため、人材の育成や多様な主体と連携した仕組みづくりが必要

- 県民のスポーツ実施率は、過去一年間向上しているものの、週1回以上のスポーツ実施率は3人に1人程度となっており、更なる向上に向けた取組の推進が必要
- 国民体育大会の総合成績が2015(平成27)年以降低下しており、競技力向上に向けた対策の見直し・強化が必要
- 開発や災害、過疎化・少子高齢化に伴う継承者の不在等により、文化財の保全が困難になっており、適正な保存や維持管理・修復整備、活用の促進が必要

3 今後の展開

多様なライフスタイルや働き方に応じた生涯学習や学び直しの機会づくりや、文化・スポーツに親しむ環境づくりを一層推進するとともに、歴史遺産をはじめとした文化財を後世に継承する取組を推進します。

【重点施策】

■44 多様なライフスタイルに応じた生涯学習の推進

- 県民が生涯学び続けることができる環境づくりの推進
 - ▽ 多様な学習機会の提供、学習成果を生かす活動の促進、県民の学習ニーズに応じた社会教育施設での展示や講座の充実とともに、生涯学習を推進・支援する人材の育成を推進
- リカレント教育の推進に向けた環境の整備
 - ▽ 山口県立大学等における県民や企業のニーズを踏まえた多彩な教育プログラムの開発・提供

■45 豊かな心身を育む文化・スポーツの振興

- 文化芸術の振興
 - ▽ 第一線で活躍する芸術家と子どもや学生との創作・交流の機会の充実
 - ▽ 民間や大学などと連携した文化芸術活動等を支える取組の推進
 - ▽ 県民誰もが参加でき、きずなを深める文化芸術活動の推進
- スポーツの振興
 - ▽ 生涯スポーツの推進に向けた「する」「みる」「ささえる」スポーツ活動への参加促進
 - ▽ 地域で気軽にスポーツに親しむことができる環境の充実
 - ▽ 競技力向上に向けた取組の推進
- 地域とともに進める文化財の保存・活用
 - ▽ 文化財を地域資源として活用するための地域一体となった保存・活用の取組を推進
 - ▽ 「錦帯橋」の世界文化遺産登録や、新たな日本遺産の認定に向けた取組を促進

■46 明治150年を契機とする後世への歴史の継承

○ 明治期の人々に関する調査研究と成果の普及啓発・継承

- ▽ 県立図書館等で、明治期に関する資料の収集・整理、調査研究、展示や講座の開催等の取組を充実

○ 幕末・明治関連史料の一体的な保存・展示・活用

- ▽ 歴史資料等の保存展示と学習支援機能を有する施設の整備の検討
- ▽ 地域の資料館・博物館の連携による幕末・明治関連史料の活用の推進

4 成果指標

指 標 名	現状値(2017)	目標値(2022)
〔再掲〕 県立美術館の入館者数	24万人 (2013～2017平均)	25万人以上 (2018～2022平均)
県民のスポーツ実施率（週1回以上）	29.3%（2016）	65%

5 関連する県の計画

- 山口県教育振興基本計画
- やまぐち文化芸術振興プラン
- 山口県スポーツ推進計画

6 県民等に期待する役割

県 民	○生涯学習や社会教育活動、地域の文化芸術活動やスポーツ活動に積極的に参加する。
市 町	○県と連携し、住民の生涯学習や社会教育活動、文化芸術活動への参加の気運を高めるとともに、地域づくり等に繋がる独自のメニューを企画し、実施する。
企業・団体等	○生涯学習や文化芸術、スポーツ等の取組について、地域や関係団体等と連携しながら、県民の自主的な活動への支援に積極的な役割を果たす。

【用語解説】

※リカレント教育：職業人を中心とした社会人に対して、学校教育の修了後、いったん社会に出た後に行われる教育であり、職場から離れて行われるフルタイムの再教育のみならず、職業に就きながら行われるパートタイムの教育も含む。

⑭ 誰もがいきいきと輝く地域社会実現プロジェクト

年齢や性別、障害の有無にかかわらず、県民一人ひとりが持てる力を存分に発揮することができるよう、様々な活動の機会づくりや気運醸成などにより、誰もがいきいきと活躍できる地域社会を実現します。

1 これまでの主な取組と成果

【県民活動の促進】

- ボランティアに関する情報をインターネットで提供する「やまぐち社会貢献活動支援ネット（あいかさねっと）」を2015(平成27)年に開設
- 県民活動への関心を広げるため「ボランティア・チャレンジデー」を実施し、2017(平成29)年は39のイベントに約7万人が参加

【女性の活躍の促進】

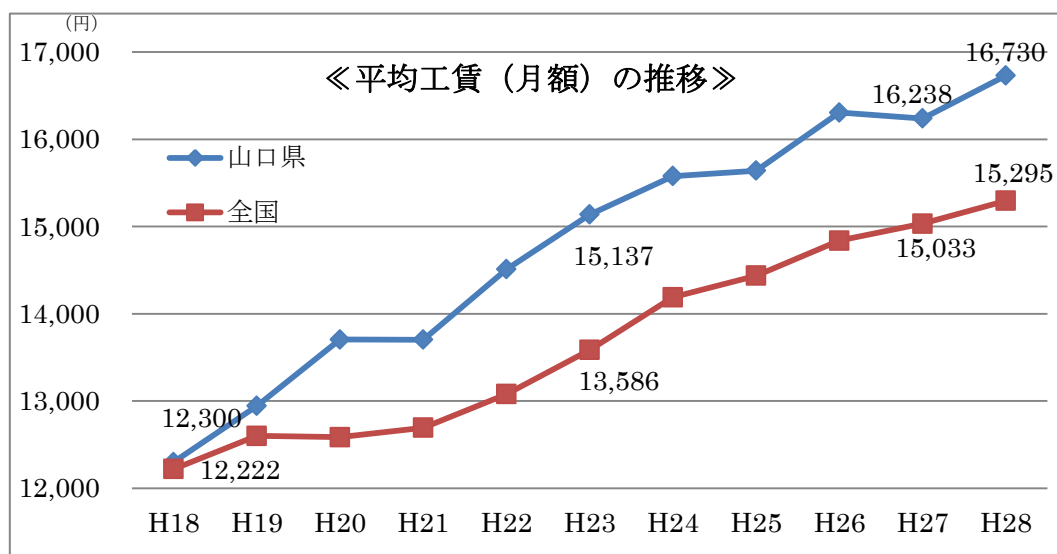
- 「やまぐち男女共同参画推進事業者」の認証の推進や、「輝く女性管理職ネットやまぐち」の創設等により、女性活躍の気運を醸成

【高齢者の活躍の促進】

- 全国健康福祉祭やまぐち大会「ねりんピックおいでませ！山口2015」を開催
- 老人クラブ等とコミュニティ・スクールとの連携等により、高齢者の社会参加と世代間交流を促進

【障害者の活躍の促進】

- 障害者差別解消法の施行を踏まえ、2015(平成27)年度から「あいサポート運動」を実施し、障害や障害者に対する県民の理解を促進
- キラリンピック（山口県障害者スポーツ大会）や障害者芸術文化祭の開催等により、障害者がスポーツや文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを推進
- 就労継続支援B型事業所※で障害者が受け取る平均工賃は、全国より高水準かつ増加傾向



資料：「山口県工賃向上計画」における推計

【地域共生社会の実現】

- 民生委員・児童委員の活動は全国上位の水準
- 生活関連事業者等と連携した見守りネットワークを構築し、全市町において地域における重層的な見守り体制を整備

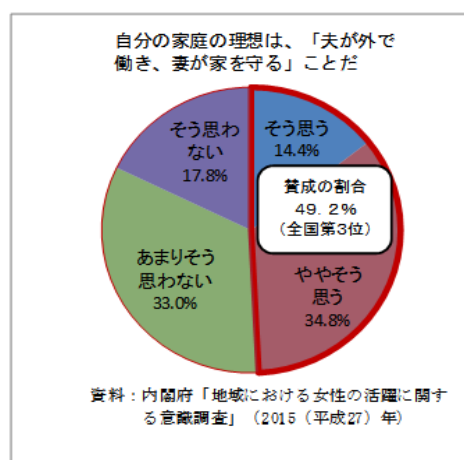
2 現状と課題

【県民活動】

- 県民活動に参加したことのない県民が約4割存在するため、県民参加のきっかけづくりと県民活動の裾野のさらなる拡大が必要
- 県民活動団体の多くは活動基盤が脆弱であり、資金と人材の確保が大きな課題
- 山口ゆめ花博を契機に活発化している県民活動の取組を、継続して活かすことが必要

【女性の活躍】

- 本県は「自分の家庭の理想は、夫が外で働き、妻が家を守ることだ」に賛成の割合が49.2%（全国第3位）と、固定的役割分担意識が強く、女性の社会進出の促進に向けた環境づくりの推進が必要



【高齢者の活躍】

- 県内の高齢化率は全国4位である一方、シニア層の就業意欲も高まっていることから、元気なシニアが地域や産業を支える担い手として活躍できる環境の整備が必要

【障害者の活躍】

- 地域生活への移行を一層推進するため、様々な障害の特性や障害者への必要な配慮等に対する理解の更なる促進が必要
- 2020東京パラリンピックを契機に、スポーツや文化芸術活動へ参加しやすい一層の環境づくりや、障害者トップアスリート・障害者アーティストの育成が必要
- 更なる工賃向上に向け、授産製品の販路拡大や事業所の経営効率化に向けた支援が必要

【地域共生社会の実現】

- 複合的な課題を抱える個人や世帯への対応、ひきこもり対策や犯罪をした者等の社会復帰支援など、既存の制度では十分に対応できない地域生活上の課題解決に向けた取組が必要

3 今後の展開

山口ゆめ花博を契機として県民活動を一層拡大するとともに、女性の活躍や高齢者の社会参加の促進、障害や障害者への理解を進める取組の推進等により、誰もが活躍できる地域社会づくりを推進します。

【重点施策】

■47 県民活動の活発化による地域の絆づくりの推進

○ 山口ゆめ花博を契機とする県民活動の拡大

- ▽ 「ボランティア・チャレンジ」等の推進による県民活動の裾野の拡大と参加しやすい環境づくりの促進
- ▽ 体験型ボランティア活動等による若年層の参加の促進

○ 県民活動団体の基盤強化と協働の推進

- ▽ 県民活動団体と行政・企業等との協働を進めるための新たな指針の策定
- ▽ 「あいかさねっと」等を活用したコーディネート力の強化による多様な主体との協働の促進
- ▽ ソーシャルビジネスの振興や寄附文化の醸成に向けた取組の推進
- ▽ 企業による社会貢献活動や、県民の持つ専門性を活かしたプロボノ活動※の促進

■48 女性が輝く地域社会の実現

○ 事業所や家庭における女性活躍サポートの取組の推進

- ▽ 「やまぐち女性の活躍推進事業者」の登録の促進
- ▽ 男性の家事・育児参画の促進
- ▽ 女性管理職候補者等へ助言を行うアドバイザー制度の活用等による女性管理職登用の支援
- ▽ 女性の活躍促進のための拠点施設の機能強化
- ▽ 県組織における女性の活躍の推進

○ 社会全体での意識改革の一層の推進〔再掲〕

○ 女性が働き続けられる環境づくりに向けた取組の促進〔再掲〕

○ 農山漁村女性リーダー・女性経営参画者の育成〔再掲〕

■49 高齢者・障害者等が活躍する地域社会の実現

○ 高齢者の多様で主体的な社会参画の促進

- ▽ 高齢者が地域を支える担い手となる、多様で主体的な社会参画の促進
- ▽ 高齢者のスポーツ・文化活動への参加の促進

○ 希望に応じて70歳まで働ける環境の整備〔再掲〕

○ 障害者の社会参加の拡大

- ▽ 障害者スポーツの競技人口や支援者の拡大に向けた取組の推進
- ▽ 「やまぐちパラアスリート育成ファンド」を通じたパラリンピック等の国際大会に出場できるパラアスリートの育成に向けた取組の推進

- ▽ 障害者アートの裾野の拡大や、障害者アーティストの育成に向けた取組の推進
- ▽ 授産製品の販売機会の確保や民間企業への情報発信等の取組の推進

○ 障害者の地域生活の支援

- ▽ 企業・団体・学校等と連携した「あいサポーター」の養成の推進
- ▽ 手話をはじめとするコミュニケーション手段により、意思疎通を円滑に行うことができる環境づくりの推進
- ▽ 入所施設等から地域生活への移行に向けた、市町の地域生活支援拠点等の整備の促進
- ▽ 市町や福祉サービス事業者との連携による、発達障害児（者）と家族に対する身近な地域での支援体制の強化

○ 障害者等の雇用促進に向けた環境整備〔再掲〕

○ 地域共生社会の実現

- ▽ 地域住民が主体的に生活課題を解決する環境づくりの促進
- ▽ 市町における複合化・多様化する課題に対応した包括的な相談支援体制の整備の促進
- ▽ 「福祉総合相談支援センター」設置による、総合的・専門的な相談支援体制の充実

4 成果指標

指 標 名	現状値(2017)	目標値(2022)
「あいかさねっと」等を通じたボランティア活動マッチング数（期間中の累計）	208人	1,500人
やまぐち女性の活躍推進事業者数	60事業者	180事業者
〔再掲〕 25歳から44歳までの女性の就業率	72.5%（2015）	78.0%
日常生活支援の担い手となる「活動推進リーダー」養成数	94人	300人
〔再掲〕希望者全員が70歳まで働ける企業の割合（従業員31人以上）	27.9%	35.0%
障害者スポーツ競技団体登録選手数	777人	923人
あいサポート企業・団体数	116団体	269団体
地域生活支援拠点等を整備した市町数	0市町	19市町
〔再掲〕民間企業における障害者実雇用率	2.56%	3.0%

5 関連する県の計画

- | | |
|------------------|------------------------|
| ○山口県県民活動促進基本計画 | ○やまぐち子ども・子育て応援プラン |
| ○やまぐち雇用・人材育成計画 | ○山口県男女共同参画基本計画 |
| ○やまぐち高齢者プラン | ○やまぐち障害者いきいきプラン |
| ○山口県障害福祉サービス実施計画 | ○山口県工賃向上計画 |
| ○山口県地域福祉支援計画 | ○やまぐち農林水産業成長産業化行動計画（仮） |

6 県民等に期待する役割

県 民	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会の主役として、年齢や性別を問わず、それぞれの個性や能力を発揮し、積極的に県民活動に参加する。 ○女性の活躍促進に向けた理解を深める。また、家庭においてお互いを尊重し、家事や育児などを分担し支え合う。 ○障害者等に対する理解を深め、地域の一員として受け入れるとともに、生活、就労の場において適切な配慮を行う。
市 町	<ul style="list-style-type: none"> ○地域におけるコーディネート力の強化を図り、県民活動の裾野の拡大や協働の取組の推進に取り組む。 ○女性の活躍促進に向けた意識の醸成や企業・団体等への働きかけを進める。 ○高齢者や障害者等の地域生活の支援や社会参加の推進に取り組む。 ○地域住民の暮らしを身近で支える主体として、見守り体制を整備し、課題を抱えた個人・世帯に対する相談支援に取り組む。
企業・団体等	<ul style="list-style-type: none"> ○社会参加の場の提供、社会貢献活動（CSR活動）の促進など、地域課題の解決に向けて、県民活動に主体的に取り組む。 ○自主的な女性の登用や職域の拡大、就業継続しやすい環境づくりなど、男女がともに働きながら安心して子どもを生み育てることのできる雇用環境づくりに向けて、企業・団体等自らが主体的に取り組む。 ○高齢者や障害者等の就労への理解を深め、積極的な雇用や障害者等が働きやすい職場環境づくりに努める。

【用語解説】

※就労継続支援B型事業所：企業での就労が困難な障害者に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行う事業所のこと。「B型」は利用に当たり、雇用契約を結ばないものであるが、他に雇用契約を結ぶ「A型」がある。

※プロボノ活動：仕事上身に付けた専門的な知識や技術を活かして社会貢献するボランティア活動のこと。

